

# 安全と規制について

## 規制について

### ■電波障害について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

### ■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理関連法規など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

### ■技術基準適合認定について

本製品は、電気通信事業法における端末機器技術基準適合認定を取得していません。電気通信事業者の通信設備に接続しないでください。

### ■電波に関する注意

#### ● 2.4GHz帯の使用について

本製品が使用する2.4GHz帯は、変調方式としてDSSS方式およびOFDM方式を使用し、想定される干渉距離は40mです。

この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。

- 電子レンジの近傍、静電気や電波障害が発生するところ、および2.4GHz帯の電波を使用している機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局およびアマチュア無線局などが運用されていないことを確認して下さい。
- 万が一、本製品から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上で、パーティションの設置など混信回避のための処置を行い、電波干渉を避けて下さい。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社のお問い合わせ先までご相談ください。

#### ● 5GHz帯の使用について

5.2GHz帯（36,40,44,48 ch）は電波法により屋内での使用に限られています。屋外では使用しないでください。

### ■お知らせ

本内容に準じないで本製品を運用した結果については、弊社は、責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

### ■お客様の権利（プライバシー）に関する重要な事項です

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波は、ある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

#### ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

#### ● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、上記の問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、セキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN製品は、工場出荷時の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていません。よって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ずセキュリティに関する全ての設定をユーザマニュアルにしたがって行う必要があります。

お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティに関する設定を行わず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情により上記のようなセキュリティの問題が発生した場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任は負いません。

あらかじめご了承ください。

# 安全と規制について

## 安全にお取り扱いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死亡を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



**警告**

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



**注意**

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

**通知**

これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



【表記例1】 感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例2】 分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。なお、⊘の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例3】 電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。なお、ⓘは一般的に行っていただきたい事項を示します。

### 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 本書はすぐ利用できるよう、お読みになった後は必ず取り出しやすいところに保管してください。
- 本書に記載されている注意事項は必ず守ってください。  
これを怠ると、人身上の傷害や本製品を含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

### 自分自身でもご注意を

本書に記載されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

# 安全と規制について

## 警告



### ■万一、異常が発生したときはすぐに装置の電源を切断してください。



万一、煙がでている、変なにおいがする、普段より発熱しているなどの異常が発生した場合や、装置の内部に異物や水などが入った場合は、PoE給電機器からLANケーブルを抜いて装置の電源を切断してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



### ■異物を入れないでください。



装置の穴や隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



### ■修理・改造・分解しないでください。

装置の修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因となります。



### ■衝撃を与えないでください。

落下させたりぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。万一、装置を落としたり部品を破損した場合は、PoE給電機器からLANケーブルを抜いて装置の電源を切断したあと、保守員をお呼びください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### ■装置の上に物を置かないでください。

装置の上に虫ピン、クリップなどの金属物や花びん、植木鉢など水の入った容器を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。



### ■指定以外の電源で使用しないでください。

指定された電源電圧以外で使用しないでください。電圧の大きさにしたがって内部が破損したり過熱・劣化して、火災・感電の原因となります。



### ■装置の取扱いは資格を持った技術者または保守員が行なってください。

装置の設置や点検、移動およびケーブルの取り付け、取り外しは資格を持った技術者または保守員が行なってください。取扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。



### ■医療機器の近くには設置しないでください。

本装置からの電波が、医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。心臓ペースメーカーなどの医療用電子機器近くや病院内など、使用が制限された場所には設置しないでください。















### ■自動制御機器の近くには設置しないでください。



本装置からの電波が、自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くには設置しないでください。


# 安全と規制について


## 警告


-  ■荷重に耐えられない場所や不安定な場所、振動・衝撃のおそれのある場所には設置しないでください。  
 装置が落下してけがの原因となります。装置の荷重に十分に耐えられる、振動や衝撃のおそれのない場所に設置してください。
-  ■人通りのある壁や天井、ポールに設置するときは高さに注意してください。  
接触してけがの原因となります。人通りのある場所に設置するときは、人にぶつからない高さに設置してください。
-  ■モルタル壁などに設置するときは内部の金属と接触させないでください。  
 本装置の絶縁がした場合、メタルラスやワイヤラス等に漏電して火災の原因となります。取り付けネジがメタルラスやワイヤラス等に接触しないように設置してください。
-  ■ぬれた状態での作業は、絶対にしないでください。  
 本装置やLANケーブル、作業者がぬれている状態でケーブル接続などの作業を行うと感電の原因となります。本装置やLANケーブル、作業者がぬれている場合は、絶対に作業しないでください。
-  ■雷が発生したときは、手を触れないでください。  
 雷による感電の原因となります。雷が鳴り始めたときは、本装置やLANケーブルに手を触れないでください。
-  ■設置状態を定期的に点検してください。  
壁取り付けネジや金属ストリップがさびたりして劣化すると、落下によるけがの原因となります。定期的に装置がしっかり固定されていることを確認してください。
-  ■本装置の使用を終了したら、撤去してください。  
そのまま放置しておくと、落下によるけがの原因となります。使用を終了したら、速やかに撤去してください。
-  ■梱包用ポリ袋の保管について  
装置の梱包用の袋は、小さなお子様手の届くところに置かないでください。かぶったり口に入れたりすると窒息するおそれがあります。




## 注意





-  ■不安定な場所に置かないでください。
  - 装置を卓上に設置する場合、装置の荷重に十分に耐えられる作業机などの上に水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置いた場合、落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
  - 装置を壁や天井に設置する場合には、装置がしっかり固定されていることを確認して作業してください。不安定な状態で作業した場合、落下や転倒によるけがの原因となります。
  
-  ■乗ったり、よりかかったり、物を置いたりしないでください。

装置に乗ったり、よりかかったり、物を置いたりしないでください。装置を破損するおそれがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
  
-  ■装置を移動させる場合はケーブルを取り外してください。

装置を移動させる場合は必ずすべてのケーブル類を装置から外してから行ってください。装置やケーブルが変形したり、傷ついたりして、火災・感電の原因となることがあります。
  
-  ■動作中および動作停止直後は手を触れないでください。

装置の表面は高温になっている場合があります。動作中および動作停止直後は手を触れないでください。火傷の原因となります。
  
-  ■温度差のある場所へ移動した場合は、すぐに使用しないで下さい。

  移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると火災・感電の原因となります。そのままその場所で数時間放置してから使用してください。すぐに電源を投入せず、使用する場所で数時間そのまま放置し、外気温度と装置内温度がほぼ同じに安定してから使用してください。
  
-  ■目的以外に使用しないで下さい。

装置を踏み台やブックエンドなど、アクセスポイントとしての用途以外に装置を利用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因となります。
  
-  ■清掃について  
  装置および装置周辺のほこりは、定期的に清掃してください。装置停止の原因となるだけでなく火災・感電の原因となることがあります。
  
-  ■高温になるところに置かないでください  
空調設備や冷暖房設備の室外機の近く、ボイラーの近くなど特に温度の上がる場所に置くと、装置本体や部品が変形・劣化して故障の原因になります。

## 通知

### ⊘ ■防塵・防水について

本製品は IP68 の防塵・防水性能を有していますが、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、防塵・防水効果が期待できず、故障の原因となります。

- IP6X：完全な防塵構造で粉塵の侵入が完全に防護されている。
- IPX8：水深 1m にて 1 時間以内の使用が可能。
  - ・落下させたりぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。
  - ・装置本体のネジを緩めないでください。
  - ・LAN ポートのキャップは、しっかりと締めてください。
  - ・LAN ケーブルを下向きにして設置してください。
  - ・高圧洗浄機を使用して洗浄しないでください。
  - ・次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。  
溶剤や薬液、海水やプールの水、洗剤や入浴剤を含んだ水、温泉や熱湯
  - ・水深 1m 以上で使用しないでください。
  - ・水中で 1 時間以上使用しないでください。

### ⊘ ■火気を近づけないでください。

装置本体や部品、LAN ケーブルが変形・劣化して故障の原因になります。装置本体や部品、LAN ケーブルに火気を近づけないでください。

### ⊘ ■接続端子に触れないでください。

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしてショートさせないでください。発煙、接触不良の故障の原因となります。

### ⚠ ■インタフェースケーブルを大切にしてください。

- ケーブルは足などをひっかけたり、ひっぱったりしないように配線してください。ひっかけたり、ひっぱったりするとけがや接続機器の故障の原因となります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。
- 屋外配線する場合は、屋外対応の LAN ケーブルを使用するか保護管などで必ずケーブルの保護を行ってください。

### ⊘ ■強い磁気や電磁波が発生する機器を近づけないでください。






磁石やスピーカなどの強い磁気が発生するものおよび電子レンジや電磁調理器具などの電磁波が発生するものを近づけないでください。装置の誤動作や故障の原因となります。

### ⊘ ■テレビやラジオを近づけないでください。

テレビやラジオなどを隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。テレビやラジオに雑音が入った場合は次のようにしてください。

- ・テレビやラジオからできるだけ離す。
- ・テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
- ・コンセントを別々にする。

## 通知

-  ■硫化水素の発生するところや腐食ガスの発生するところ、塩分の多いところに置かないでください。  
温泉地など、硫化水素の発生するところや、工業地域・排水処理施設の近くなど腐食ガスの発生するところ、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。
-  ■煙霧状の液体を使用する場合は、装置を保護してください。  
煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどで装置を完全に包んでください。装置内部に入り込むと故障の原因となります。  
また、このとき装置の電源は切断してください。
-  ■お手入れのときは  
お手入れの際は、PoE給電機器からLANケーブルを抜いて装置の電源を切断してから行ってください。装置外装の汚れは、乾いたきれいな布、あるいは、布に水か中性洗剤を含ませてかたく絞ったもので、汚れた部分を拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や薬品、化学ぞうきん、殺虫剤は、変形・変色および故障の原因となることがあるので使用しないでください。
-  ■長時間ご使用にならないときは  
長期間の休みや旅行などで長時間装置をご使用にならないときは、安全のためPoE給電機器からLANケーブルを抜いて装置の電源を切断してください。
-  ■この装置の廃棄について  
この装置を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則に従って廃棄するか、地域の廃棄処理施設にお問い合わせください。